

ICT教育の理論と方法 第12回



ICT機器を効果的に活用した実践と発表②

山梨大学 教育学部 准教授 稲垣 俊介

この授業のお約束

- 自分から動いてアクティブに学んでください。
受動的だけでなく、能動的に参加してください
- この授業内でのインプットは少なく
皆さんのアウトプットの共有が多い授業内容です。
- 意識してPCとスマホを駆使してみましょう。

最終課題

これまで本講座で学んできたことをふり返り、それを踏まえて「あなたがどのような教員になりたいのか」をまとめてください。締切は2026年1月25日です。

タイトルを必ずつけ、章立てを行ってください。分量は3000字以上とします。提出ファイルはWordファイル (.docx) のみ受け付けます。PDF、Google Docs形式、画像などは不可です。

文章は、中学生でも読める読みやすさを心がけてください。ただし内容が軽くなる必要はありません。読み手が誤解しないよう、明確で論理的に書いてください。文体は「です・ます」「だ・である」どちらでも構いません。

根拠のない思い込みではなく、文献や授業で扱った内容を必ず引用してください。文献の引用は一般的な引用ルールに従ってください。授業内容を引用する場合は、以下のように授業名と回数を明示してください。

例：「第8回授業において稻垣は「～～～」と説明した。」

最後に、この授業を通して「どのような教員を目指すのか」を明確に述べてください。

あなたの名前は削除し、今後の後輩たちに見せる参考レポートとして使用しようかと考えています。
理由の如何にかかわらず、遅れての提出は受理しません。

提出開始日（1月19日）から書き始めると間に合わない可能性が高いため、各自で計画的に作業してください。
最終授業（1月19日）には、レポート作成のヒントをお伝えします。

自由課題

自身で作成した「情報モラル」「情報活用能力」を育む授業について紹介する発表してもらいます。
発表日は12月8日、15日、22日です。

- 発表は必須ではありません。発表した人には必ず加点します。
- 発表時間はこれからのアンケート結果で変更します。
- 発表日、発表を希望される人は、みなさんから見て左側一番前から右に向かって座ってください。
- スライドの表紙と最後にお名前と学生番号を大きく見やすいフォントで記してください。



発表予定者

12月15日

12月22日

講義のカリキュラム

1. リフレクション紹介

2. 授業の紹介発表

3. 講師からの授業紹介

発表者へのコメント

発表者へのコメント：

現在のインターネット社会では、情報の悪意ある切り抜きによって印象が操作されていたり、一邊の情報のみを受け取って誹謗中傷をしてしまったりする事例が多く挙がっている。そんな中で、平家物語の有名な登場人物を取り上げて、実際に先生が印象を操作する情報を生徒に与え、後にそれを覆すことで、いかに自分のイメージが与えられた情報に左右されていたのかを実感することができるの非常に分かりやすく良い授業方法だと思った。

また、平家物語を使うことで、今まで古典に興味が薄かった生徒にも、なんとなく親近感を持つてもらえたり、場合によっては実際に読んでみるきっかけになったりしそうなところも、国語科としては嬉しいポイントだと感じた。

発表者へのコメント：

今回選挙という身近な存在の中で、最近にあったことが取り上げられてのことから考えるきっかけになりやすいと思いました。

選挙の基礎知識を学んだうえで都知事選挙の例を紹介しているところで、選挙の必要性とメディアとの関係をより和つかみやすいのではないかと思った。

ブランド勝負になるということを強調していることが授業自体でも選挙の問題に触れているのに、政治思想の強要になつておらず、情報モラルにつなげていく部分がすごいと思った。

発表者へのコメント：

谷川俊太郎と著作権の話を結びつけるために谷川俊太郎や著作権の話をイラストや図を用いており、スライドの文字数も多すぎずとても見やすかった。著作権についての簡単な事例説明の後に谷川俊太郎の例に写り、「なぜ訴えられたか」をみんなで話し合うことで谷川俊太郎についても著作権についても考えを深めることができると感じた。



発表者へのコメント：

情報の調べ方を教えることで、国語に必要な能力に関連することが多かったです。

デジタル化が進む世界に、危険性が増すことについて取り上げられていました。すごく汎用性が高いと思いました。

考えさせる授業ないしは書かせる授業があった方が授業に対する集中力があがると思いました。

発表者へのコメント：

「言葉を選ぶということ」という言葉が印象に残った。ネット社会で起きる事例をきちんと知るとともに、なぜ？を考えることで、こうした問題の理解を深めることができるよう構成された授業で、とても魅力的に感じた。参考にしたいと思います。お疲れさまでした。

発表者へのコメント：

事例を提示して考えさせ、実際に考えたことを活用できるワークがあって、良い構成だと感じた。

ネガティブな面だけでなく、ポジティブな使い方を紹介していたのもよかったです。SNSを使わないということではなく、上手に使うという立場をとっているのがよいと感じた。

稻垣の授業へのコメント

稻垣の授業へのコメント

問題解決に対して、学校で起きうる問題を実際に提示していることが授業に参加しやすいかつ、コンピュータの歴史に近いもの触れれるのが面白いと思った。

ゲーム理論についてあまり詳しく知らなかつたため、全体を通して理解することができたので、フルでこの授業を聴くことができたら、歴史・公民・情報の知識を得られそうと思った。

稻垣の授業へのコメント

囚人のジレンマについて考えさせる作りが面白いな
と思いました。先生の授業実践は引き込まれるなと思つ
たのですが、生徒を授業に引き込むコツや意識してい
ることありますか。

稻垣の授業へのコメント

たくさんの例題を出していて、飽きの来ない面白い授業だと思った。

特に、政党の話を持ってきているのが興味深かった。政治にあまり馴染みが無い生徒でも分かりやすく、仕組みを理解するきっかけにもなりそうである。一見すればC党が大負けしてしまった展開なのに、全体を見ればC党が最も重要なポジションにいるというのが、政治の面白いところだと思う。

稲垣の授業へのコメント

構造の類似からゲーム理論と情報モラルを結びつける考え方があ
参考になった。国語科と情報モラルの結びつきを考えていた中
でなかなか両者が結び付かず悩んだが、先生の授業実践を見て、
なんとなく抽象化、構造化の方法が分かってきた。普段から分
野横断的な考え方を持って、将来に繋げたいと思った。



自由課題

自身で作成した「情報モラル」
「情報活用能力」を育む授業について紹介する発表してもらいます。

発表日は12月8日、15日、22日
です。

- 発表時間は5分です。
- 交代を含めてお一人の時間は6分でこちらで切れりますね。

12月15日

240878

千葉太智

242424

大塚文喬

240051

宮本菜々子

240248

多田啓佑

講義のカリキュラム

1. リフレクション紹介

2. 授業の紹介発表

3. 講師からの授業紹介

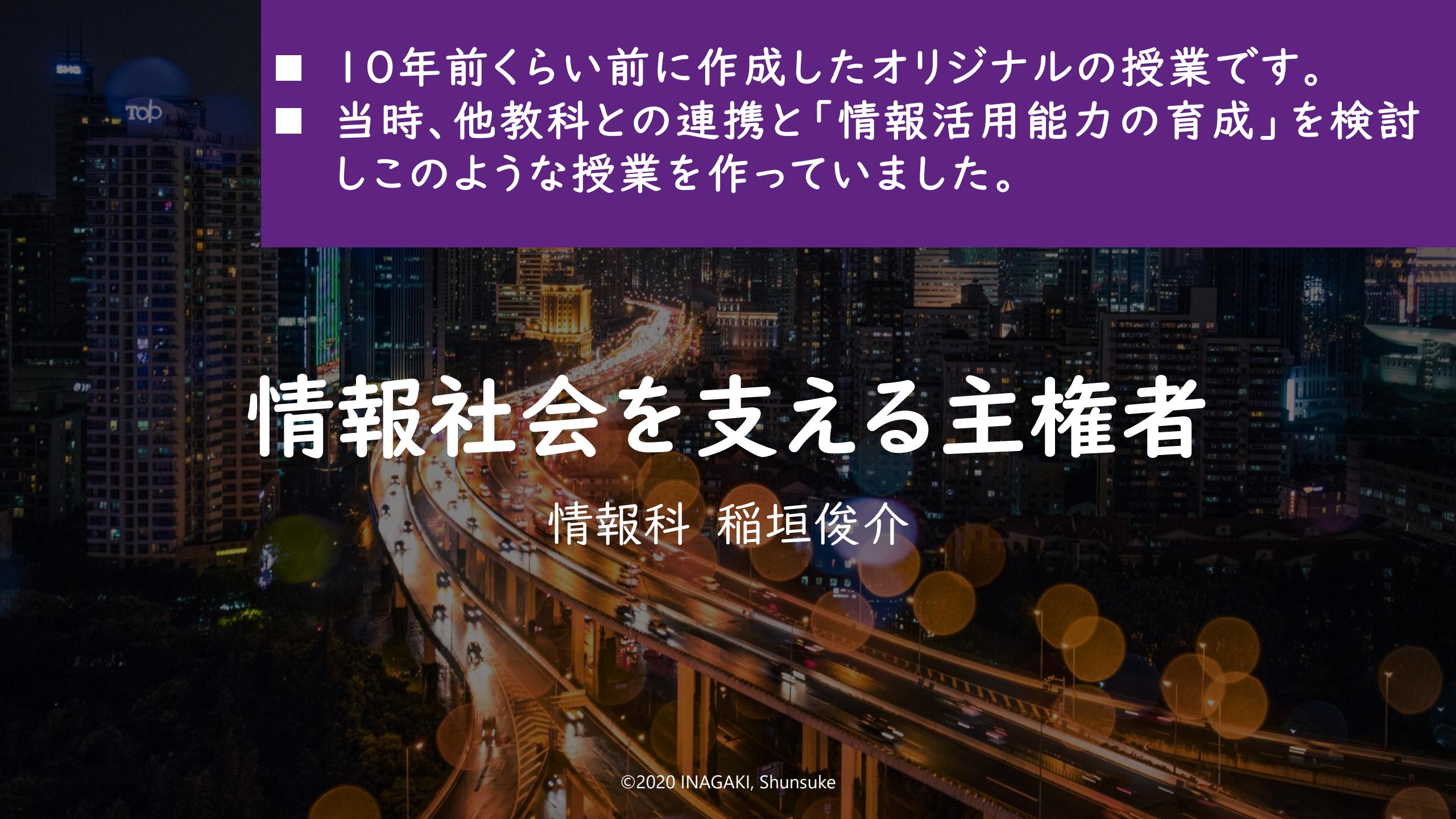
講義のカリキュラム

1. リフレクション紹介

2. 授業の紹介発表

3. 講師からの授業紹介



- 
- 10年前くらい前に作成したオリジナルの授業です。
 - 当時、他教科との連携と「情報活用能力の育成」を検討しこのような授業を作っていました。

情報社会を支える主権者

情報科 稲垣俊介

講義のカリキュラム

次回も楽しみにしております。